

**日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会**  
**第 44 回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録**

1. 日時 2017年8月24日(木) 13:00~15:30
2. 場所: JANSI 13F 第1, 2会議室
3. 出席者: 岡本主査、松原副主査、田中幹事、生駒、重留(石倉代理)、石原、岩田、梶谷、黒川、小山、炭谷、立花、田村、鳥居、西田、深田、中野(見上代理)、湊(18名)  
-常時参加者: 工藤、佐藤、松居、山岡、河野、林(高橋(宏)代理)  
-説明者: 堀川、水越  
-聴講者: 天野、上野、杉村、門林、高塚  
-欠席委員: 杉山、丹沢、松嶋、三橋
4. 配布資料  
R3SC - 44-1 人事案件(人事案件なし配布省略)  
R3SC - 44-2 (社)日本原子力学会 標準委員会 基盤・応用技術専門部会  
第 43 回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録(案)  
R3SC - 44-3 R3SC - 43-5 に対するコメント一覧  
R3SC - 44-4 廃止措置の技術レポート作成要領(案)  
R3SC - 44-5 「原子力安全の基本的考え方について 第 I 編 原子力安全の目的と基本原則」の作成に関する解説  
R3SC - 44-6 技術レポートの廃止措置要件の順についての検討案について  
R3SC - 44-7 廃止措置要件と GSR Part6 との比較(廃止措置要件案)  
R3SC - 44-8 廃止措置計画標準関連資料  
R3SC - 44-9 原子力学会 秋の大会の発表概要
5. 議事
  - (1) 出席者/資料確認
    - ・委員 18 名の出席があり、定数を満たしていることを確認した。
    - ・人事案件がないため R3SC - 44-1 の配布は行わないことを説明した。
  - (2) 【審議】人事案件
    - ・人事案件なし。
  - (3) 【審議】前回議事録確認
    - ・炭谷委員が、出席者と欠席者の両方の記載されている。欠席者の記載が誤りなので、訂正し、内容は承認された。
  - (4) 【審議】廃止措置の要件に関する技術レポート
    - ① R3SC - 43-5 に対するコメント紹介  
R3SC - 44-3 によって前回(第 43 回)で審議された R3SC - 43-5 に対するコメント一覧の説明がされた。コメントに対する対応は R3SC - 44-4 以降の資料に基づき説明される。
    - ② 廃止措置の技術レポート(案)の審議
      - ・R3SC-44-4 により、廃止措置の技術レポートに記載する要件の整理と作成の手順につ

いて説明があった。また、R3SC-44-5 から R3SC-44-7 により、R3SC-44-4 に示された作成要領に従って作業中である技術レポート作成状況について、説明があった。

- ・ R3SC-44-4 及び 5 については特にコメントなし。
- ・ R3SC-44-6 について、技術レポートでは、基本的に学会安全要件の記載順に沿って記載する。なお、国、規制機関、事業者に共通の事項である「安全」に関係するキーワードを検討し、そのキーワードが他の要件とどのように関係するかを整理した上で、「安全」の要件の記載について検討する。
- ・ R3SC-44-7 について、技術レポートの本文では要件を簡潔に記載する。また、要件を定めたのち、要件ごと記載する細目を検討する。
- ・ R3SC-44-7 の要件 1 3 に関して、「廃棄物」にはクリアランス、NR や有害廃棄物等も含まれるが、技術レポートの対象とするものを選別の上、簡潔に記載するよう今後検討する。

(5) 【審議】 廃止措置計画標準

- ・ R3SC-44-8 により、前回第 43 回廃止措置分科会での計画標準に対するコメントへの対応状況について説明があった。
- ・ R3SC-44-8 については特にコメントなし。
- ・ 審査基準は、添付資料六において設備への要件を細かく設定しすぎている。特に本文八章と添付資料六については、今後学会としてグレーデッドアプローチの適用を規制に訴えても良いのでは。
- ・ 次回分科会では、廃止措置計画標準の記載について議論する。

(6) 【報告】 原子力学会 秋の大会の発表について

- ・ 2017 年秋の大会でシリーズ発表する標準の改定作業の概要の説明があった。発表は、9 月 13 日の午前中である。

(7) その他, スケジュール等

- ・ 次回は、10 月 11 日 13:00～ 原電で開催予定

以上